

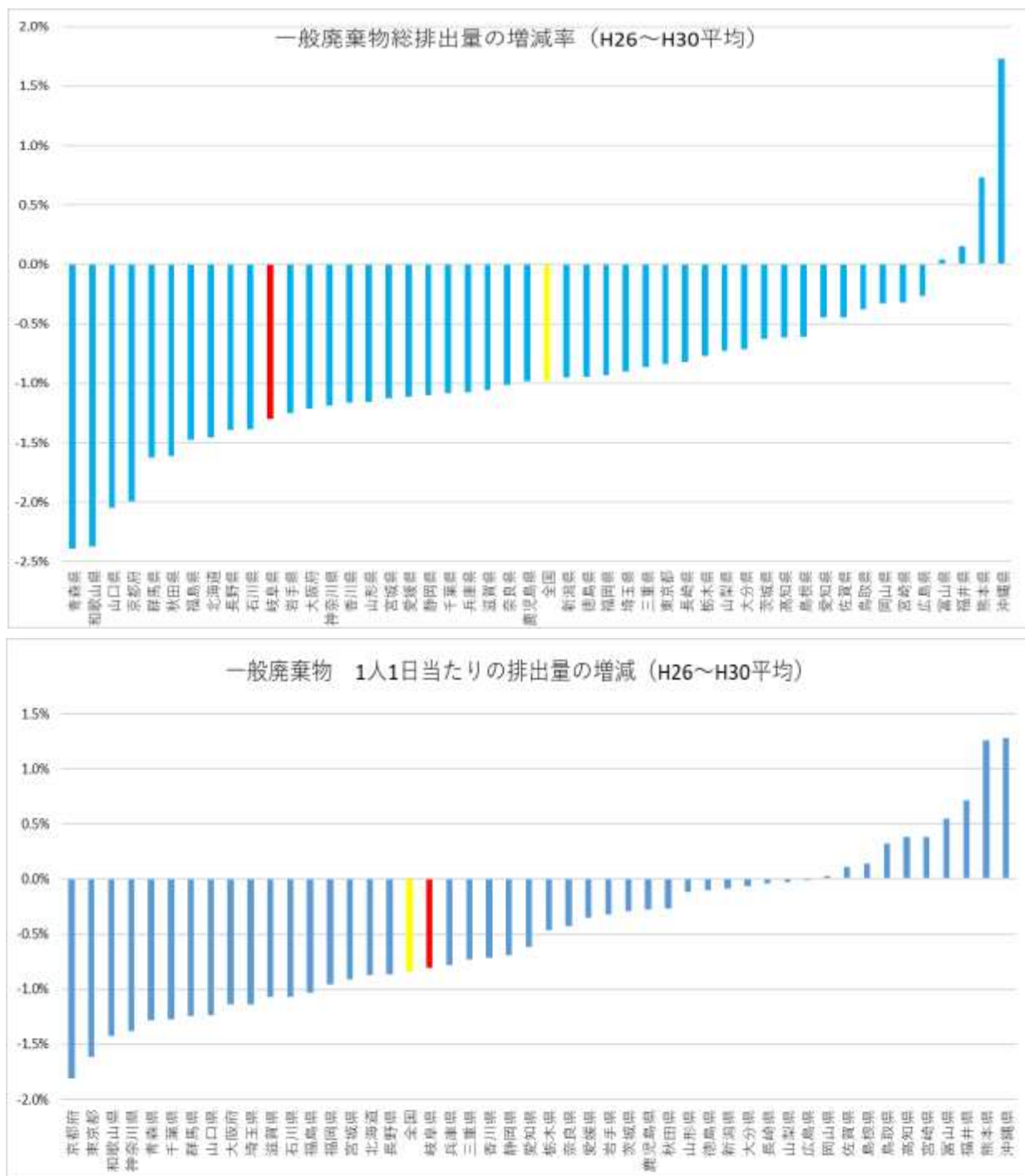
全国における岐阜県の位置づけ

○一般廃棄物

1 5年間の増減について

平成26～30年度（5年間）の総排出量の増減率を平均すると、岐阜県は1.3%減であり、減少率が高い方から11番目となり、全国平均よりも減量化が進んでいるといえる。

また、1人1日当たりの排出量でみると、岐阜県の増減率の平均は0.8%減であり、減少率が高い方から18番目となっており、減量化の状況は全国平均並みであるといえる。

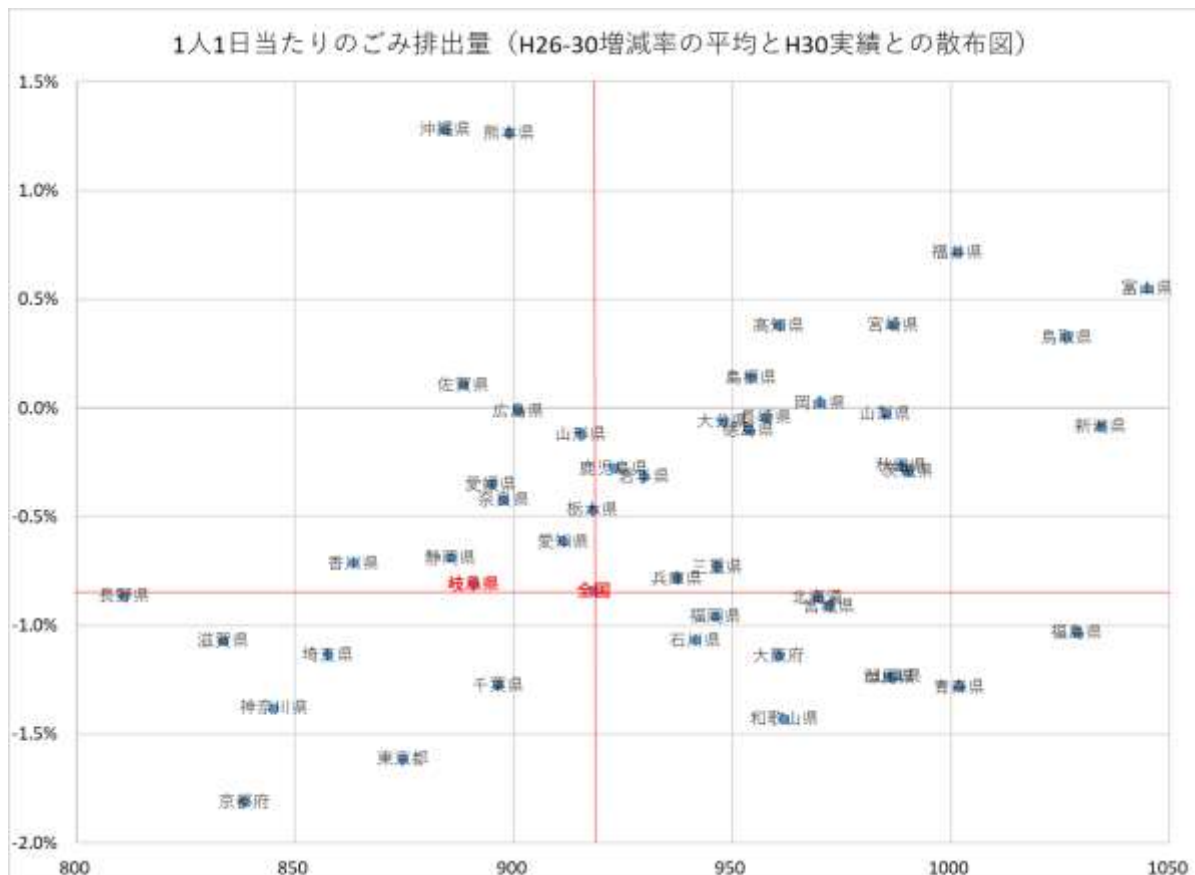


（出典：一般廃棄物処理実態調査）

2 1人1日当たりの排出量と増減率の関係について

平成30年度の岐阜県の1人1日当たりの排出量は891g/日と、全国平均よりも少ない値となっているが、平成26～30年度の5年間の増減率は0.8%減と全国平均並みである。

このことから、一般廃棄物の減量化を全国に率先して推進するためには、更なる取組みが必要といえる。



(出典：一般廃棄物処理実態調査)

3 家庭系ごみと事業系ごみの割合等について

家庭系ごみと事業系ごみの割合については、全国的に家庭系ごみの割合が大きい傾向にあり、岐阜県もおおよそ5：2の割合で家庭系ごみの割合が大きい。

家庭系ごみについては平成26～30年（5年間）にかけて減少傾向にあるものの、事業系ごみについては増減を繰り返しているが、全体としては増加傾向にある。以下に各分類ごとの分析の詳細を示した。

以上のことから、岐阜県の一般廃棄物の減量化を推進するにあたっては、特に事業系ごみへの取組みを強化する必要があるといえる。

家庭系ごみ

岐阜県は、家庭系ごみの量が全国では少ない方から14番目であり、5年間の増減率の平均値は1.5%減と減少率が高い方から11番目となっている。

このことから、岐阜県の家庭系ごみについては、全国平均（-1.2%）よりも減量化が進んでいるといえる。

事業系ごみ

岐阜県は、事業系ごみの量が全国では少ない方から17番目であり、5年間の増減率の平均値

